

ホームページへの掲載		
済	3月4日	掲載予定

岐阜県立飛騨高山高等学校

学校長 河渡 正史

学校住所 (岡本キャンパス) 高山市下岡本町2000-30 電話 0577-32-5320

(山田キャンパス) 高山市山田町711 電話 0577-33-1060

- 1 会議の名称 平成30年度岐阜県立飛騨高山高等学校 学校評議員の会議 (第2回)
学校関係者評価委員会
- 2 会議の構成

委員	伊藤 順子 (有)ドラッグいとう 専務取締役 【欠席】
	小林 光士 飛騨ミート農業協同組合連合会 代表理事常務
	横畑 守 岐阜県指導農業士 【欠席】
	杉山 和宏 (株)高山電材 代表取締役 【欠席】
	坂下 桂子 アトリエ リーベル
育友会	柚原 雅樹 全日制 育友会長
	渡久地 真由美 定時制 育友会長
	内木 悟 通信制 学校関係者評価委員
学校側	河渡 正史 校長
	田屋 雅樹 副校長 (全日制山田キャンパス)
	金子 佳弘 副校長 (定時制・通信制)
	田口 実 事務部長
	池田 哲也 教頭 (全日制岡本キャンパス)
	加藤 久視 教頭 (全日制岡本キャンパス)
	大森 賢一 教頭 (全日制山田キャンパス)
	垣下 大吾 教頭 (定時制)
	中田 和美 教頭 (通信制)
	近藤 和彦 教諭 (全日制岡本キャンパス・教務主任)
	富田 喜友 教諭 (全日制山田キャンパス・教務主任、記録)
	塚本 和幸 教諭 (全日制岡本キャンパス・生徒指導主事) 【欠席】
	柳原 博之 教諭 (全日制山田キャンパス・生徒指導主事)
	荒川 一弘 教諭 (全日制岡本キャンパス・進路指導主事)
	田中 一幸 教諭 (全日制山田キャンパス・進路指導主事)
	島田 正幸 教諭 (全日制山田キャンパス・農場長)
- 3 会議の目的 学校運営等について、地域住民や有識者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成31年1月25日 (金) 14:50~15:50
高山市民文化会館 4階 4-4室
学校評議員3名と育友会等 (学校評価委員) 3名と学校側15名が出席
- 5 会議の概要 (進行 大森教頭)
開会のことば (田屋副校長)
学校長あいさつ (河渡校長)
今年度の学校状況の説明
生徒保護者等を対象とするアンケート結果と分析
全日制 岡本キャンパス (池田教頭) 全日制 山田キャンパス (大森教頭)

定時制（垣下教頭） 通信制（中田教頭）

学校関係者評価、学校への意見・要望等
閉会のことば（金子副校長）

（１）学校長挨拶・学校説明

先程までこの高山市民文化会館の大ホールに約1000名の生徒が集まりまして、学習成果発表会を行いました。本校は、岡本、山田二つのキャンパスに分かれており、一緒に行える行事が少ないです。その中の一つの大きなイベントであり、1年間、3年間の集大成として行わせていただきました。閉会式でも話しましたが、7つの学科がそれぞれ学習しており、他の学科の学習の中身は専門的で知らないことが多いですが、それぞれが誇りを持って発表し、共有することで財産にするという目的が達成できたと考えています。ありがとうございます。

お手元に「活躍する生徒たち」の冊子があります。130ぐらいある本校生徒の活躍を報じた新聞記事の一部です。先日の和牛甲子園では総合部門最優秀賞に輝き、全国で2連覇を達成することができました。生徒たち、牛、先生、そして関係者の方々の努力の成果であります。日本農業新聞では、「100回目の夏の甲子園で輝いた吉田くんら高校球児に対し、農高牛児の活躍と讃えられました。岡本では、地元の中学生に租税教室を行いました。地域への貢献、自分自身の学びとなりました。定時制では、新しい取り組みとして、ハローワーク見学・企業見学などの就職活動を行いました。通信制では、昨年度より生徒会が中心になってボランティア活動をスタートしました。古切手の回収やベルマークの仕分けを行い、社会貢献ができました。このような生徒の活躍を我々教員は大変うれしく思っております。

昨年は大変なことがありました。自然災害では、7月に岡本キャンパスの法面が大雨により崩れました。3月までには修復される予定です。9月の台風の時には、両キャンパスで倒木が100本以上あり、倒れた木が校舎に当たるなどの被害がありました。そんな中、山田では環境科学科の生徒が率先して処理を手伝ってくれ、学びの実践となりました。

本日は、それぞれのお立場、見方でご意見をいただきますようお願いいたします。

（２）今年度の学校状況の説明

＜全日制 岡本キャンパス＞ 池田教頭

学習指導では、授業改善を図り習熟度別の授業などに取り組み90%以上肯定的な意見を得ている。話し合いやペアワーク、またパワーポイントを利用した授業が行われている。30%の生徒が総合選択制のシステムを利用して他学科の学びをしている。他学科と連携した学習も進んでいる。生徒指導では「他者への思いやり、感謝の気持ちを育てる教育ができています」が90%以上。「社会のルールにふさわしい服装、頭髪の指導を行っている」が97%と高評価を得ている。ボランティア活動をするMSリーダーズの登録者が275名で、掃除や雪かきなど自主的に活動してくれている。就職では、求人も多く結果が出ている。公務員にも合格している。キャリア教育では1年生でインターンシップを実施している。ふるさと企業OB&生徒交流会では、企業の方に授業をしてもらい効果的に実施できた。

普通科では、家庭学習時間が少ないのが課題である。情報処理科では、国体、インターハイに出場し、名古屋市立大学に合格、文武不岐を実践した生徒がいる。また今年度から小学校を訪問しプログラミング学習を教えている。ビジネス科では就職が好調である。昨年度に続き中学校に出向いて租税教室を行っている。商品開発では昨年度開発した茜小町というトマトまんじゅうの販売に力を入れている。生活文化科では、自ら創造性を持って活動できる生徒が増えている。外部講師を招いての講習会も積極的に行っている。

<全日制 山田キャンパス> 大森教頭

地元企業や農業関係団体の協力のおかげで、全国的な活躍がある。和牛甲子園で2年連続で優勝し、お米甲子園で4年連続金賞を受賞した。2年連続して国公立大学に2名合格した。公務員7名合格。駅前の花飾りでは園芸科学科と環境科学科が作り上げ寄贈した。2級土木管理技術検定という国家資格で32名91%が合格した。(全国平均の合格率は58.8%)

<定時制> 垣下教頭

定時制では、「飛騨の地域に貢献できる人材の育成」を目標に取り組んでいる。学習指導では「わかる授業」、生徒指導では「自己肯定感を高める」、進路では「卒業後の進路実現を図る」をキーワードとして様々な教育活動を実践している。これらについて、生徒保護者からのアンケート結果より、学習指導では「授業の教え方や説明がわかりやすい先生が多い」の肯定的評価が92%で昨年と比較すると大きく伸びている。学習については、さらなる工夫を凝らし、基礎基本を大事にしながら学べる環境整備に取り組んでいく。生徒指導では、すべての教育活動を通して自己肯定感を高めるように取り組んでおり、肯定的な評価が高まっている。個々に寄り添う教育相談活動やアンケート活動を増やし、日々生徒の変化に適切に対応できるよう取り組んでいる。外部機関の講師を招き、思いやりの気持ちを育む指導をしている。進路指導は定時制の大きな課題である。企業見学会やハローワークの見学会を新たに企画し、進路に特化した取り組みを進めている。それにより新卒求人に対する受験ができ、内定をもらう生徒も出てきた。これらの取り組みにより退学者の人数が減ってきた。定時制教育振興会が定時制を支援してくださり、「定時制を応援する企業を増やす」という取り組みがあり、アルバイトから正社員に採用してくれたという例が出た。

<通信制> 中田教頭

生徒保護者からの評価として、学習面では概ね高く評価されているが、昨年度と比較すると肯定的意見が若干ポイント減になっている。日曜スクーリングの出席率の低下が理由のひとつである。通信制には様々な背景をもっている生徒が在籍している。小学校高学年から学習空白期間が続いている生徒もいて、入学した生徒の中には中々馴染めない生徒の割合も増えている。退学者の数は確実に減っている。なんとか通信制に踏みとどまって高校卒業まで頑張ろうとしている。

保護者からもこの地域になくはならない学校として高く評価されている。今後も一層個に応じた丁寧な指導をしていきたい。

生徒指導では春先にネットトラブルがあったが解決済みである。大変落ち着いた中で学校生活を送れている。教育相談的には全日制や定時制より手厚い支援が必要でスクールカウンセラーや子ども相談センター等の外部機関と連携しながら手厚く行っている。ボランティア活動も昨年度からスタートしており、他者と直接関わる機会を積極的に意図的に設けて自己肯定感を高めることに努めている。

進路指導については、最近在籍生徒の若年化が顕著になり生徒や保護者からの期待が非常に強くなっている。今年度も2名センター試験を受験している。推薦等で短大や専門学校に決まったり、地元就職していく生徒もいる。アルバイトから正規雇用になった生徒もいる。しかし進路をこれから決めていかななくてはいけない生徒もいる。多様な進路により一層組織的に対応していきたい。

来年度も生徒の自己肯定感を高めることを第一に今まで通り、気長・丁寧・親切をモットーに支援していく。

(3) 学校へのご要望・ご意見等

意見 1

学習成果発表会は生徒の雰囲気が高く、発表の内容も我々企業が求めるものや、将来的に期待できる内容のものが多かった。成果として良かった。

全体の事では、人間関係でハラスメントの問題が企業でも多く、何気なく相手が傷つくことをいい、言った本人は気づいていないということが起きている。思いやりについては大事にしたい。

企業としても、頑張っている地元高校生をできるだけ採用していきたい。

和牛甲子園の結果は農業関係者にインパクトを与えることであり、GAPの取り組みなども高校生に期待している。今後も生徒を育てていただきたい。

意見 2

全日制の専門的な外部講師に来ていただくことは良いことである。外部講師の話は、現場の声が聞けて勉強になる。

定時制のアンケートで肯定的な評価が増えたことと退学者が減ったことは良い。卒業してからどうするかが大切になってくる。自分がやりたいことがある人はいいが、何をしたいかわからない、どうしたらいいかわからないという子が多いと聞く。親の言うことは聞かないこともあるので、そのような子の相談にのって欲しい。挫折した時も、もうだめやでなく、こうすることはできると考えられるようになって欲しい。経験談を話してもらえるような機会があるといい。

意見 3

学習成果発表会では真剣に聞く姿があり素晴らしい会であった。発表者たちが自分たちでどんどん前に進んでいきたいというのが感じられた。高校から新しいものを発信していくというのが良く、期待が持てた。とても専門的な話が聞け、自分もワクワクできた。これからもワクワクできる学校を目指して欲しい。

意見 4

この会場で生徒が友達を思いやりながら片付けをしていたり、私が通行するときによけて譲ってくれる気づける子がいて素晴らしいと感じた。息子の様子から、この時期に就職が決まっていない子たちは、心が不安定になっているので、気を遣っていただけるとありがたい。

意見 5

この学校を選ばせてもらって良かったと思っている。文化祭等を見させてもらったが、助け合っている姿や、元気にやっている姿から、普通の子と変わらないと思った。進路など多様性があるが、お力添えいただきたい。

全日制のふるさと企業OB&生徒交流会に10年近く参加させてもらっているが、聞く態度が良く、毎年楽しみである。

人材を育てることは会社でも大変であり、昔はなかったことが起きている。勉強ができれば仕事ができるというものでもなく、思いやりとか協調性などが社会に出て一番大事である。素直な気持ちで取り組んでいけばいい。

意見 6

センター試験の制度が変わりますが、学校としての対応はどうか？

回答

文部科学省から具体的な指針が出ていない。手探りの状態で行っている。英語の民間試験が行われるので、今年度、普通科1年生がGTECという民間試験を受けた。

学びの履歴という生徒自身が自主的に自分の学びを振り返ることが必要になるので、1年生を中心に普段の学びを振り返ることをしている。

大学入学共通テストに関しては、プレテストが終わったばかりであり、分析できていないが、来年度に向けて授業改善などを行い対応していきたい。

6 会議のまとめ及び閉会

本日は貴重なご意見をいただきました。学校に持ち帰り職員会議等で検討したり、改善策を考えながら取り入れていきたいと考えております。今後も本校のためにお願いします。学校評議員は3年間で任期になっております。伊藤様、小林様、横畑様には3年間本当にありがとうございました。3年間の様々のご意見で学校も少しずつ良くなっていると思っております。杉山様、坂下様につきましては来年度も学校評議員をお願いしたいと思っております。

以上をもちまして平成30年度第2回学校評議員の会議兼学校関係者評価委員会を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。

後日、本日の会議録をお送りいたしますのでご覧いただき、訂正すべき点がありましたら、ご遠慮なくお申し付けください。